

令和5年度は、5月より新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったため、どこまで活動を解除し、いつまで慎重な対応をとるべきか悩みながらの運営となりました。

衛生面は引き続き留意するものの、子ども同士の関わりは限定せず、食事のパーテーションを外し、歯みがきを再開するなど生活の仕方を改めました。また、保護者に保育の様子を見ていただく機会は、一斉にならないよう配慮し、参観週間を設定したり、運動会の2部制をとったり、生活発表会をクラスごとの披露とする、久しぶりの親子遠足は広い場所で現地集合とすることで実現する、など行事の内容や保護者の保育参加の仕方について随時検討し、日常のあそびの様子はポートフォリオにして玄関に掲示するなどし、できる限り保育の様子(子どもの姿、子ども同士の関わり、保育者との関係性等)を見ていただけるよう進めてきました。

4月より子ども家庭庁が発足し、「こどもまんなか」社会が謳われていますが、当園でも、子どもたちが遊び込める環境づくりを検討し、試行錯誤しながら子どもの“主体性”を大切にしたい保育に取り組んでいます。

次年度以降も職員間の共通理解のもと、より良い環境を設定し、応答的なかかわりを大事にし、子ども主体の保育を目指します。

◎令和5年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

(1) 安心して過ごせる家庭的な環境の中で一人ひとりを大切にしたい保育を行い、質の高い養護、教育により子どもの育ちを保障

- ① 乳幼児期における情緒の安定や信頼関係の形成、一人ひとりの発達に応じた適切なかかわりに留意し、子どもの姿をありのまま受けとめ、子どもが安心して自分の思いを出せるように、子どもの主体性を尊重した教育の安定的な提供に努めた。
- ② 家庭との連携を大切に、子ども達の現状をしっかりと把握して、安心して園生活を送れるようなかかわりを持ち、職員間の共通理解のもと適切な支援を行った。
- ③ さまざまな感染症の予防として、手洗い、うがいをこまめに行い、乳児、幼児が早出居残り時間に同じ空間にならないように分かれ、可能な範囲で感染症の拡大防止に努めた。

(2) 乳児保育、特別支援(障がい児)保育等、保護者の多様なニーズに沿った保育サービスの向上と情報の提供

- ① 子ども達の育ちを支え、保護者の子育てを支えるため、0歳児をはじめ、途中入所を多く受け入れた。
- ② 発達の気になる子ども、貧困世帯など社会的な支援の必要性が高い子どもや家庭を含め、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境の変化をふまえ柔軟に対応した。
- ③ 保護者への緊急連絡の際、公式LINEを活用し、速やかに一斉に知らせるようにした。

(3) 世代間交流事業、異年齢児交流事業、保育所地域活動事業の実践

- ① 地域の高齢者施設、デイサービスを訪問し、園児が作ったプレゼントやメッセージ

を届けた。1か所では、敬老会の一部として室内で交流し、お年寄りに直接会え、喜ばれたことでうれしさを感じ、人を思いやる優しい心を育むことができた。

- ② 地域の小学生と年長児の交流を学期に一度設け、小学校の水泳の授業に参加し、小プールを楽しんだり、おもちゃまつりでは、手作りおもちゃを使って一緒に遊んだり、体育の授業では、ボール遊びやレクリエーションを一緒に楽しむことができ、同じ校区内の園児と、就学前の貴重な体験ができた。当園からは16校の小学校に分かれるため、就学时健康診断や一日入学(実施した小学校は)で小学校に行く機会があり、中には在校生と関わりを持った子もいた。

(4) 職員間の連携を図り、子育てに関する相談、家庭環境に対する積極的な支援

- ① 保護者との連携を密にし、職員会を通じて園全体で子育て及び家庭支援の強化を図った。園児の対応について職員間で連携し、共有する機会を持った。
- ② 家庭環境に対する配慮、専門機関との連携等、保育内容の充実を図るとともに、保護者と保健師、保育士による個別面談、相談の機会を設け園全体で取り組んだ。

(5) 保育士の資質向上と保育水準の向上について

- ① 案内のあった研修についてはできるだけ参加し、資質向上に努めた。zoom研修、オンデマンド研修等活用し、可能な範囲で参加し、職員の自己研鑽に必要な機会の確保に努め、研修後は職員会等で内容を共有した。
- ② 子ども・子育て支援制度、改定保育所保育指針についての理解等、一人ひとりが課題を明確にすることができた。
- ③ 通園バスは使用していないが他県での事故を受け、欠席者の有無、その理由を9時30分には確認することを徹底した。
- ④ 不適切保育について資料を使って園内研修を行い、保育者の言動、対応の仕方について十分注意していくよう確認し合ったり、幼保支援課の「保育の質向上ガイドライン」を活用し、一人ひとりの保育の振り返りを行ったりして、資質向上に努めた。

(6) 保護者の就労支援の為、早出・居残り、延長保育、土曜午後保育の実施

- ① 保護者の就労支援の為、保育の必要な家庭を対象に平日午後7時まで、土曜日は午後5時30分までの保育を実施した。
- ② 中心地であるため早出居残りの利用者が多く、延長保育を利用する児童も年々増加しており、夕方の時間に有資格の保育補助者を雇用し安全にお迎えを待てるよう対応した。

(7) 津波避難計画に基づいた避難訓練や防災活動への積極的な参加

- ① 様々な想定に基づいた訓練を積極的に実施した。
- ② 防災、減災対策の課題を共有しつつ、研修に参加し、マニュアルや対応についての見直しを行った。

(8) 近隣に居住する家庭の少ない園ではあるが、今後の地域の子育て支援の機能を強化すべき取り組みの展開

- ① 地域の子育て家庭とつながることの必要性を考え、園の見学を随時受け入れたり、毎月第1木曜日を「園庭開放」日とし、特に感染症が流行していなければ、保育室の様子を直接見てもらったり、同年代の子どもと、短い時間ではあるがふれあったりして、園や保育について知ってもらう機会を持った。

今年、PTAと協議し夕涼み会を日中に行い、園内での食事は用意せず“まるのうちまつり”として、盆踊りやゲームコーナーを設けることで、園児、保護者との交流の場を持った。バザーは園としては行わなかったが、保護者会連合会主催の「ほごれんまつり」(中央公園で開催)の中で、フリーマーケットを開き、当園の存在をPRする機会があった。

今後は地域の中で当園の存在、当園の保育をアピールして、園児確保や開かれた園づくりを考えていきたい。

令和6年3月31日現在

定員	110名
職員数	31名(正職12名、契約職員11名、パート8名)
	嘱託医 2名 内訳(歯科医1名・内科医1名)
保育時間	平日(7:30~19:00) 土曜(7:30~17:30)
早出、居残り児童	早出児童55名、居残り児童81名、
延長保育利用児童	延べ1395名、月平均利用116名
土曜日の午後保育	登録園児数38名、平均利用人数23名

※ 契約保育士11名中、特別支援担当保育士3名を含む。

※ パート職員8名は、午前の保育補助、延長保育時間対応(4時間~6時間)。

◆在籍児童数

令和6年3月31日現在

年齢別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
児童数	13	18	16	15	20	23	105

◆年度別:月平均在籍児童数

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
3歳児以上	54名	49名	50名	62名	58名
3歳児未満	51名	48名	48名	45名	41名
計	105名	97名	98名	107名	99名

◆令和5年度 月別児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	95	95	97	97	96	98	101	99	101	105	106	105
入所	0	0	2	1	0	5	3	0	2	4	1	0
退所	0	0	1	1	3	0	2	0	0	0	1	6

◆職員の資質向上(=研修)への取り組み状況

- 乳児研修・・・・・・・・・・・・・・ 3名
- 保健・救命救急・食育・アレルギー関係研修・・・・・・ 6名
- 保育士研修・・・・・・・・・・・・・・ 23名(高知県保育士会)
- 保育業務に関する研修・・・・・・・・・・ 42名(zoom、オンデマンド、DVD研修含む)
(特別支援保育研修、家庭支援研修、安全教育研修、保育の日、防災に関する研修)
- 県主催研修・・・・・・・・・・・・・・ 2名

◆令和5年度主要な年間行事

- 4月 入園式、顔合わせ集会(幼児組)、組別懇談会、個別懇談、
高知市交通安全教室(3・4・5歳児)
- 5月 集会、全園児健診、劇団飛行船を観に行く(5歳児)、検尿(4・5歳児)
わんぱくこうちに行く(5歳児)
- 6月 保育参観週間(第2週)、歯科検診、プール開き
- 7月 七夕まつり、まるのうちまつり、夏の水遊び
- 8月 プールおさめ、大掃除
- 9月 通報総合避難訓練、敬老の日地域訪問(5歳児)、敬老の日行事(祖父母への手
紙を出す)、集会、3歳未満児健診、お弁当の日
- 10月 運動会、木曜市の買い物学習(5歳児)、親子遠足(春野運動公園)、
お芋ほり(4・5歳児)、お芋ほりごっこ(0・1・2・3歳児)
- 11月 焼き芋パーティー、全園児健診①②、筆山山登り(3・4・5歳児)、
家族の日プレゼント渡し、就学前健康診断(5歳児)
- 12月 生活発表会、クリスマス会、おもちつき
- R6/1月 初詣、凧あげ、お正月あそび、歯科検診、小学校一日入学(5歳児)
オーテピアみらい科学館へ行く(5歳児)
- 2月 節分豆まき、3歳未満児健診、お店やごっこ、お弁当の日、
交通公園に行く(5歳児)
- 3月 ひなまつり、通報総合避難訓練(火災)、お別れ遠足(エコ・パーク)(5歳児親
子)、お弁当の日、新入園児保護者説明会、おわかれパーティー、卒園式

- その他 ◆ 毎月 誕生会、避難訓練、身体測定(0歳児)を行っています。
- ◆ 隔月 身体測定(1～5歳児)
 - ◆ 個別相談、育児相談は必要に応じて行っています。
 - ◆ 園見学の希望があれば随時行っています。
園庭開放 毎月第1木曜日 電話予約をいただいているからの来園
… 利用者数 延べ5名